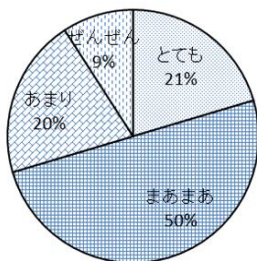


新聞アンケートの結果①

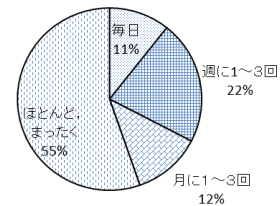
新聞とコミュニケーションに関するアンケートを実施しました。新聞を読んでも人数が少なく、「ほとんど、または、全く読まない」人が55%という結果でした。但し、理由の多くが「家でとっていない」でしたので、今後、学校で、どんどん読んでもらえればと思います。

また、積極的にコミュニケーションをとっているかの問いには、「とても」「まあまあ」を合わせて71%の人がとっていると結果でした。ぜんぜんとっていないと答えた人に理由を聞くと「話す話題がない」が一番多く、42%でした。新聞を読んで話題作りにつなげてもらえればと思います。

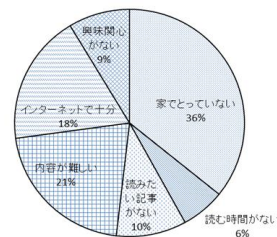
あなたは周りの人と積極的にコミュニケーションをとっていますか。



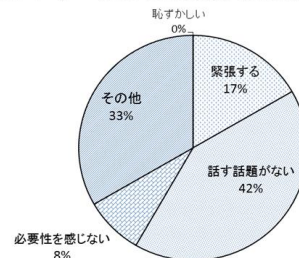
あなたは、新聞を読んでいますか。



新聞を読まない理由は何ですか。



コミュニケーションをとれない理由は何ですか。



気になる記事コーナー4

水戸市下大野町の県立水戸高等特別支援学校（白土良子校長）で10日、茨城国体

弁当箱作り黙々と



茨城国体の開会式などで使用される弁当箱に品書きを入れる生徒。水戸市下大野町

「お弁当の万年屋」を運営する大洗町磯浜町の「こつじや」が茨城国体をきっかけに同校に協力してもらおうと依頼。生徒たちは品書きが曲がっていないかなどに注意しながら、慎重に作業した。同社の鈴木由紀子専務は「品書きと箸を入れるのは意外と手間がかかる。想定よりも遅く進み、びっくりしている」と生徒の仕事ぶりに驚いていた。3年の高橋郁さん（18）は「箱を見て、国体の仕事といてことを実感した」と話した。同じく3年の斎藤晴香さん（18）は「貴重な経験ができて良かった」と感想を述べた。（佐藤珠貴）

今日からいよいよ始まる「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」では、本校の生徒が多く参加することは、既にお知らせしたとおりですが、競技や式典以外でも国体に関わる生徒たちがいます。それが左の記事。国体の開会式等で使用される弁当箱に、お品書きや割り箸を詰める作業を、総合サービスの生徒たちが担当しました。その数5千箱。本校スローガンにもある【貢献】の一つです。

また、10月13日（日）には、アダストリアみとアリーナで、ビルメンと総合サービスの生徒がボランティア活動、ケースデンキスタジアム水戸では、KOUTOKUマルシェinゆめ国体（コース製品販売）で大会を盛り上げます。見せろ！KOUTOKU魂！！